

5月下旬～6月は気温が高く、雨が多い予報

- 5月19日発表の1ヶ月予報では、気温が高めで雨が多く、日射量は少ない確率が高い予報となっています。天候が変わりやすい予報となっています。適切な水管理でワキを予防し、初期分けつを確保しましょう。

土壌の異常還元(ワキ)対策

田植え後、気温の上昇に伴い、有機物等の分解が進むと、土壌が還元状態(酸欠)になりメタンガスなどが発生。ガスにより根痛みが発生し、水分や養分吸収が阻害され、分けつ不足や葉が黄変することがあります。次のことに留意して、適切な水管理を行ない、根痛みを未然に防ぎましょう。

- 活着後は、水深2～3cmの浅水管理とし、日中止水、夜間注水の保温的水管理を行い分けつの発生を促進させましょう。
- 晴天・高温が続く場合は、2～3日おきに水の入替えを行い、ワキや表層剥離の発生を抑制しましょう。ワキが発生した場合は、下の表により対策を行ってください。
- 除草剤を使用する場合、薬効を確保するため散布後7日間は止め水とします。その間ワキが進まないよう、除草剤散布前に必ず水の入替えを行いましょう。



ワキによる分けつ不良

表 土壌還元(ワキ)の程度と対策

ワキの程度と目安	生育への影響	対策
水田を歩くと気泡が発生する	根の活力低下	水交換
水田を歩くと盛んに気泡が発生し、臭いを感じる	根張り不良	水交換、夜間落水
水田を歩くと著しく気泡が発生し、臭いを強く感じる	根の伸長阻害、地上部黄化	夜間かん水、田干し

いもち病防除を徹底しましょう

昨年は、8月の天候不順で穂いもちが多発しました。梅雨時は感染条件が整いやすいので、薬剤による防除を徹底してください。

- いもち病防除剤(粒剤)を散布する場合、水深を3cm以上とし、散布後は少なくとも3～4日間は湛水状態を保ってください。また、散布後7日間は、落水・かけ流しはさけてください。
- 県病虫害防除所の水稻いもち発生予測システム(BLASTAM)を参考に防除が遅れないようにしましょう。

NOSAI山梨 山梨県農業共済組合 <https://www.nosai-yamanashi.or.jp>

■中央支所 TEL:0553-22-5056
 ■南アルプス支所 TEL:055-282-0443
 ■本所 TEL:055-228-4711

■北部支所 TEL:0551-23-1111
 ■富士支所 TEL:0554-45-6611